

# 大学院まで一貫したプログラム

学びの  
特徴

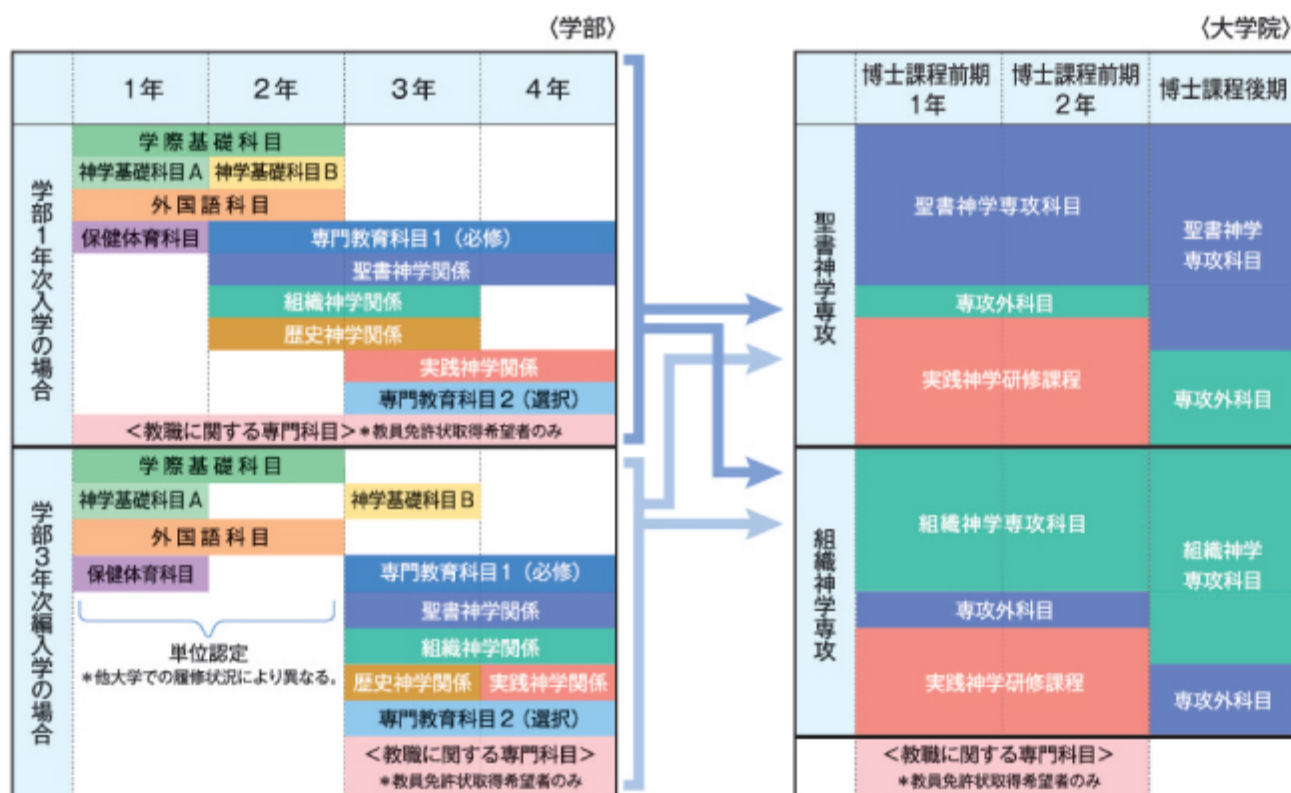
## 学部1年からは6年間、 学部3年からは4年間

キリスト教の伝道者として整えられるためには、充実した学びが必要です。そのため、本学では、学部だけではなく、大学院までを一貫した神学教育プログラムとして提供しています。このため、ほとんどの学生が、学部1年から入学した場合は、学部4年間、大学院2年間の計6年間、学部3年から編入学した場合(多くの他大学卒業者の場合)は、学部2年間、大学院2年間の計4年間かけて神学を学びます。

## 神学の学びと教会生活の両方で、 伝道者として整えられる

本学には「神学校と教会は車の両輪である」というモットーがあります。そのため神学生にとって教会生活は、大学での学びと並行する重要なもの。学生はそれぞれの出席教会(出身教会とは限らない)の礼拝に加わり、神学生として奉仕し、交わりのときを持ちつつ、牧師の指導の下、教会に仕えることを学びます。さらに、神学校のプログラムとして学部4年次、大学院1年次に「夏期伝道実習」があり、全国各地の教会に遣わされて約5週間の伝道実習を体験します。

### カリキュラムイメージ



教会生活

夏期伝道実習

\*このカリキュラムイメージは一例です。特に編入学の場合は、単位認定状況に合わせて、必要な学びが得られるよう指導しています。  
\*学部には神学の4つの専門分野があり、大学院では聖書神学(新約・旧約)と組織神学(組織・歴史・実践)に分かれます。

